

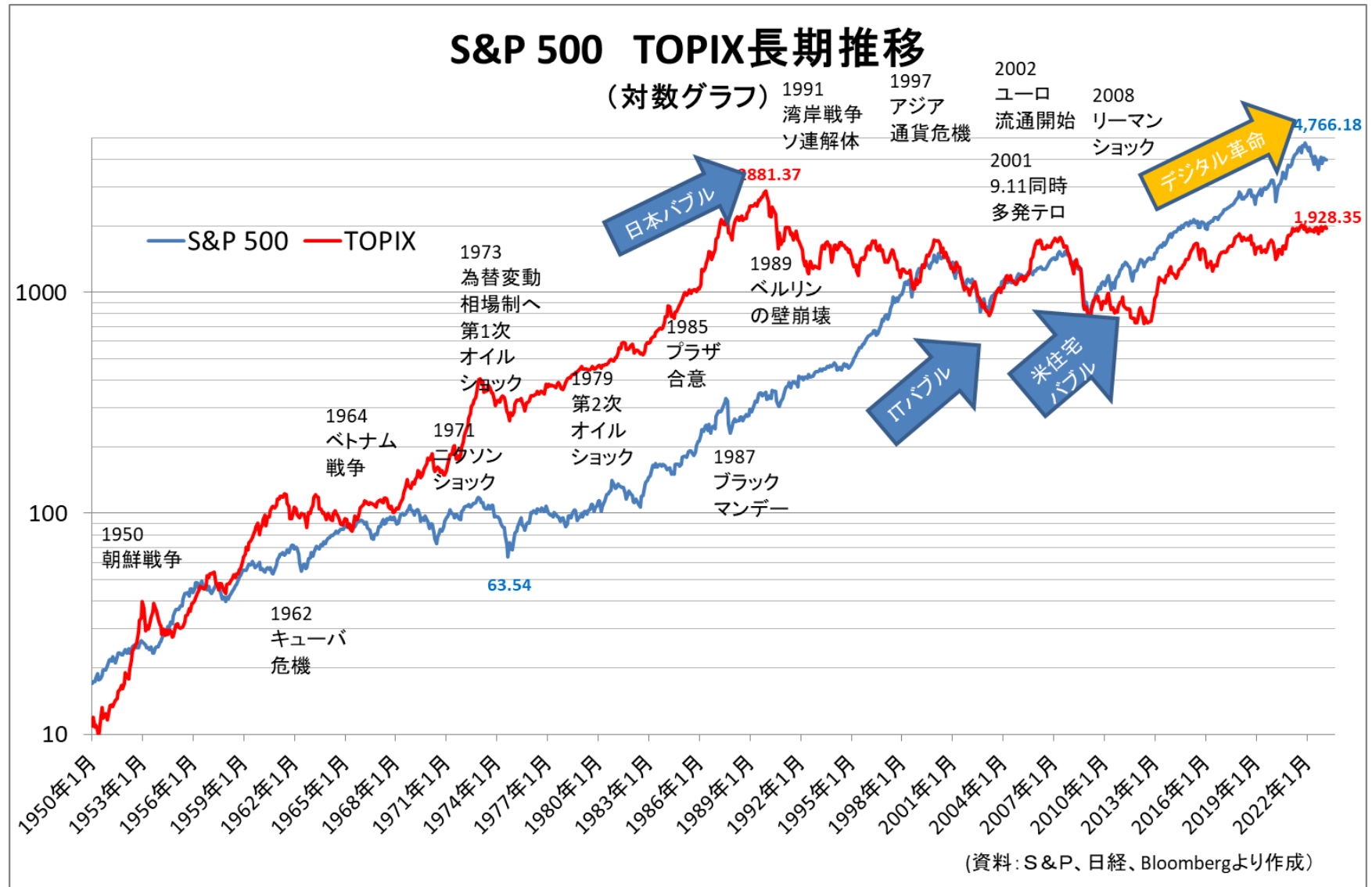
A world map with a light green background and black outlines of continents and countries. The map is centered on the Atlantic Ocean.

Weekly Market Monitor

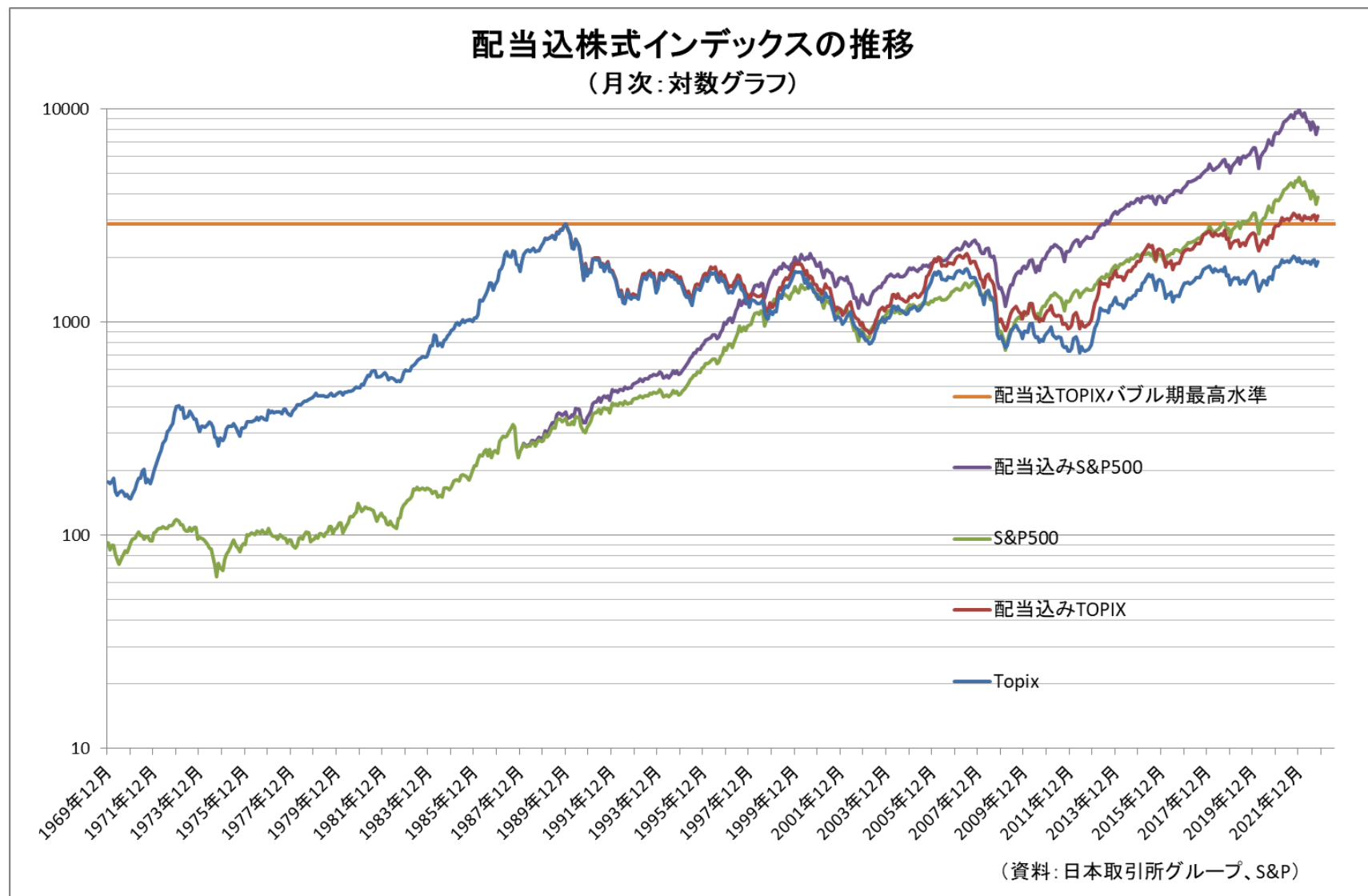
---株式編---

2023年3月24日データ迄収録

長期イノベーションへの期待はあるも足許調整局面

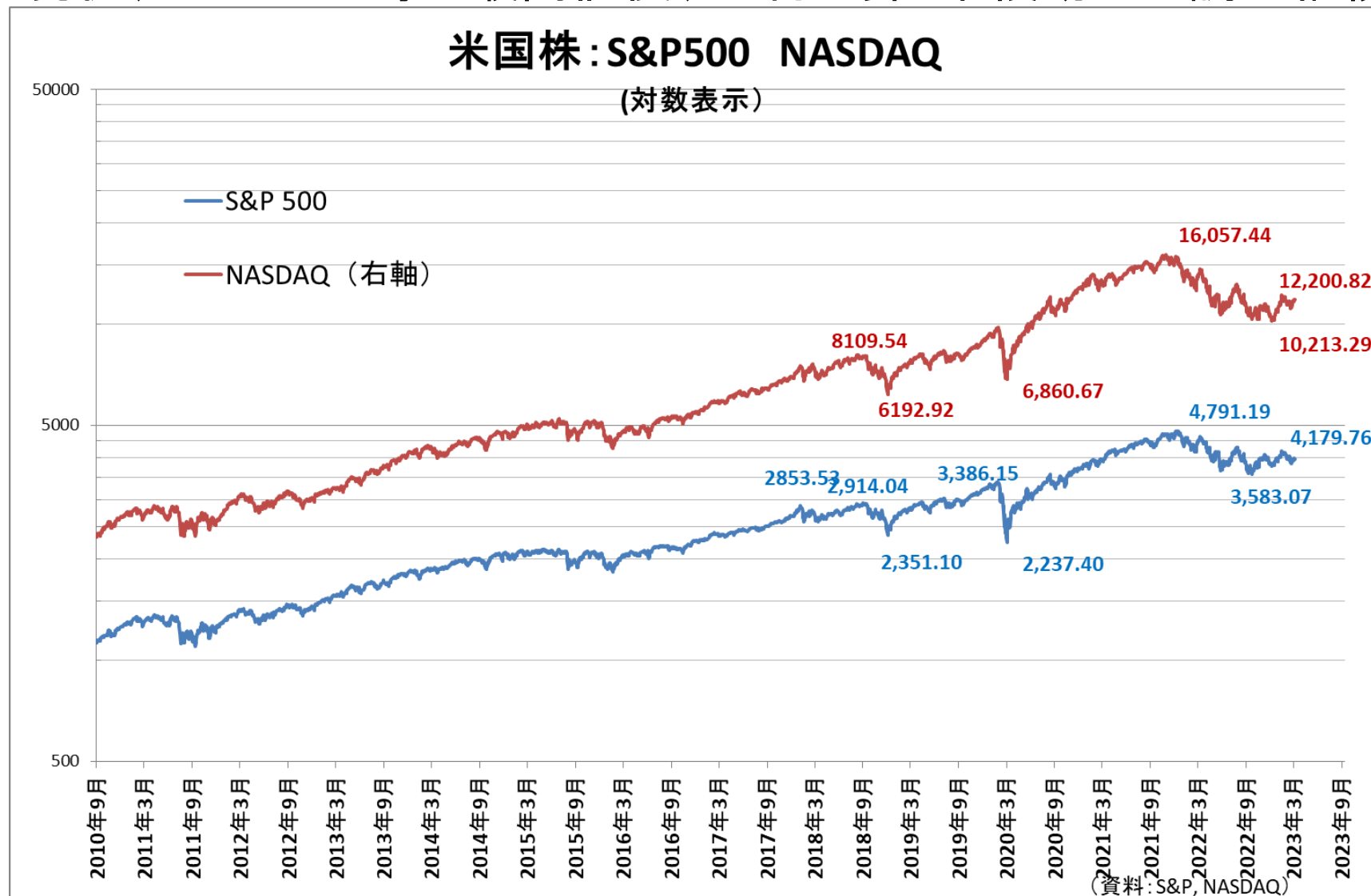


配当込インデックスでは、TOPIXがバブル高値を上回る

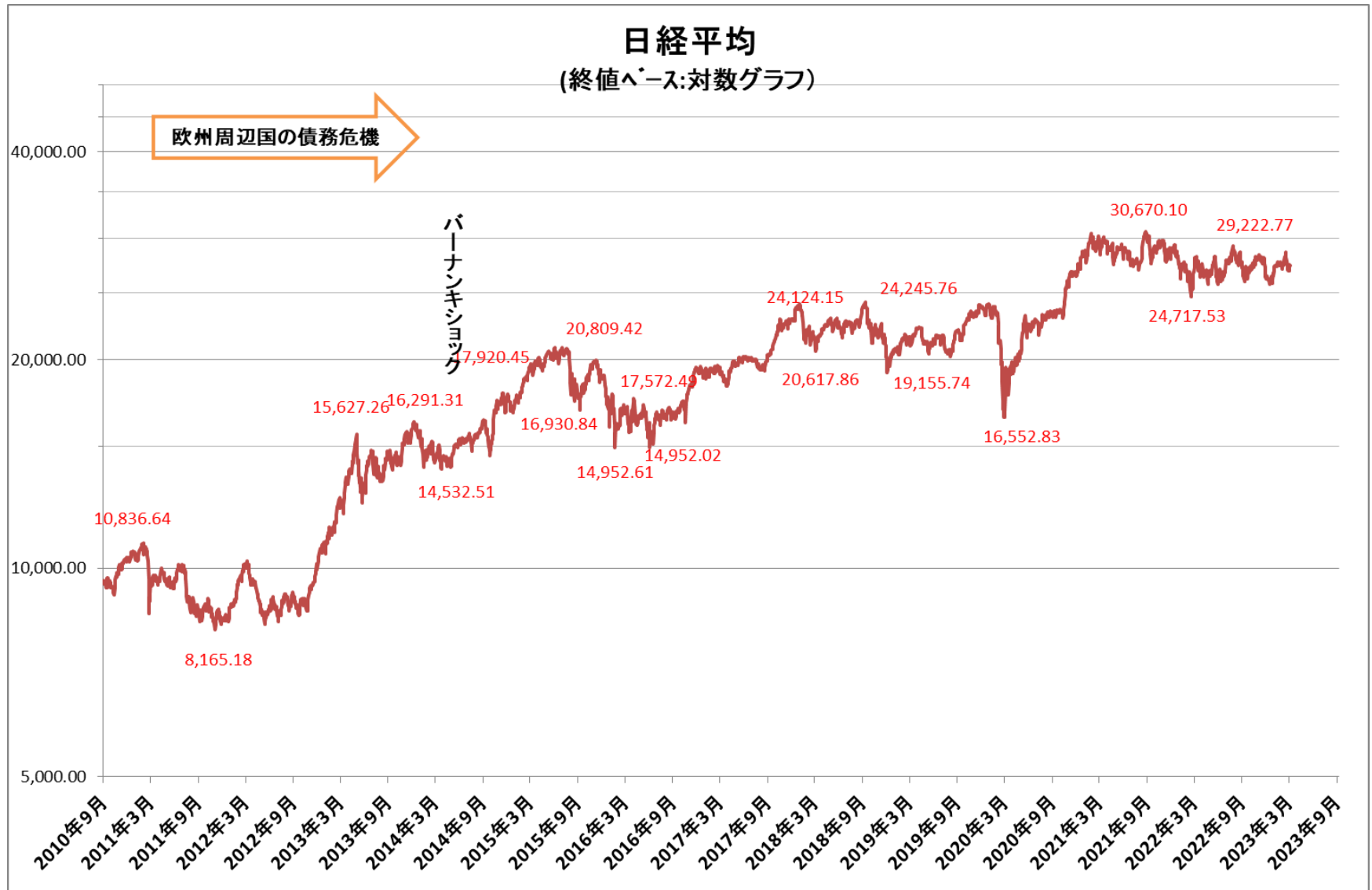


米国株式はインフレ懸念・金利上昇を材料に調整

---現状、S&P500主導で最高値後、金利上昇・業績動向で調整継続---

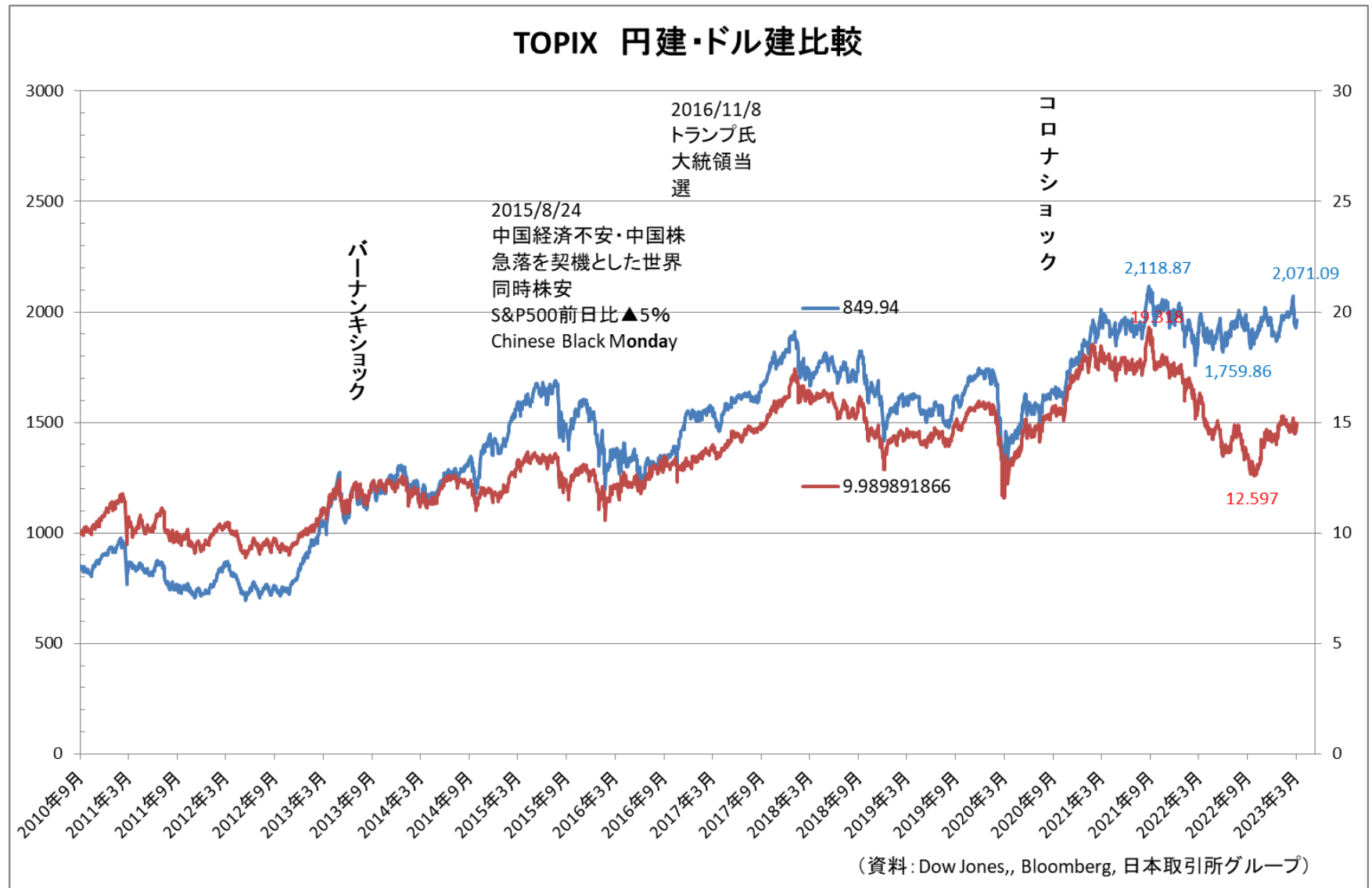


日経平均は調整後、レンジ内で底堅い動き



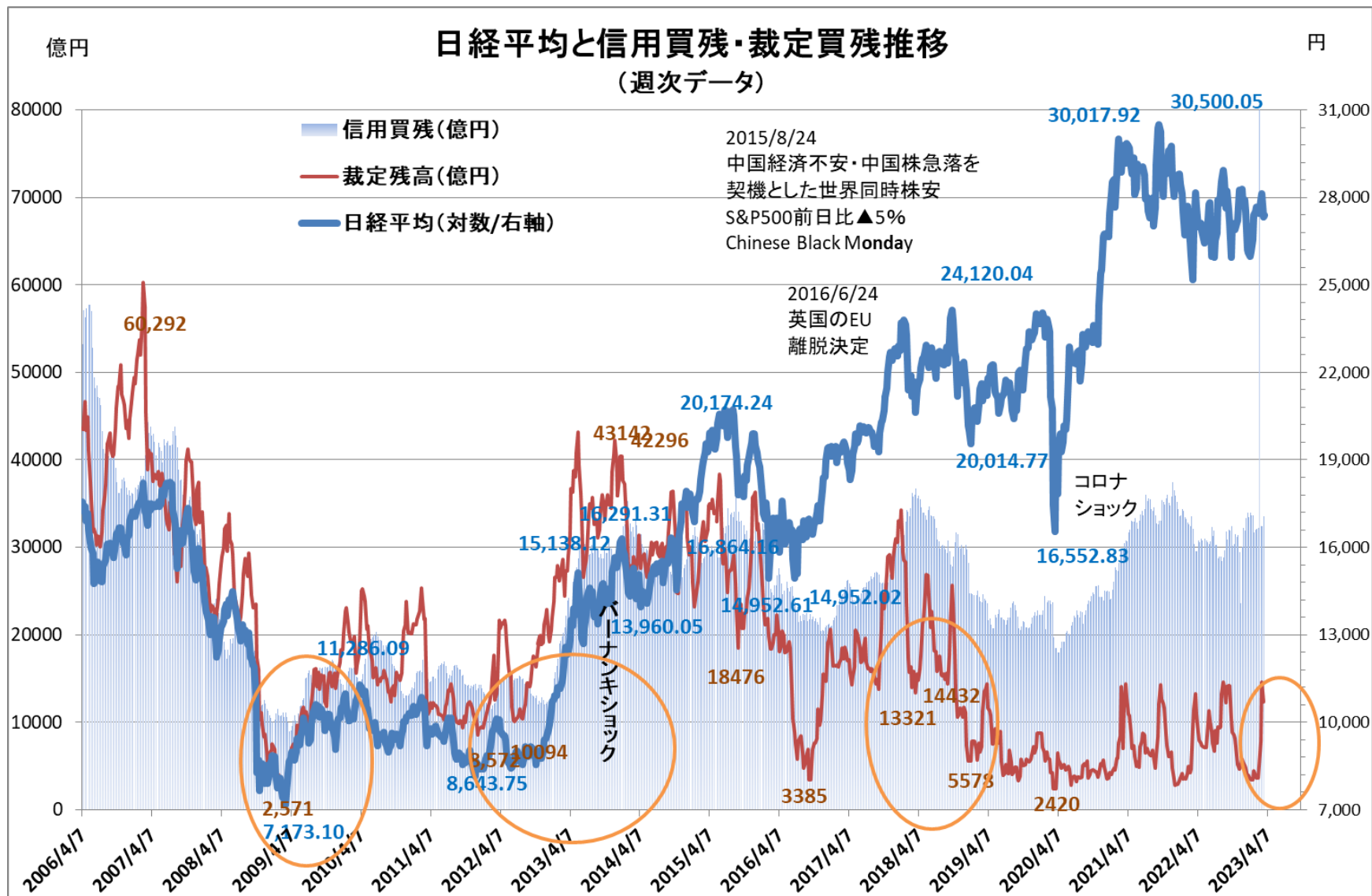
TOPIXはドル建てでは大きく下落

---円建日本株の下落が相対的に小さいのは「割安感」と「安全」---



国内株式は裁定残が依然ボトム圏

---裁定残の低水準は中期的に依然として上昇余地を示唆、足元増加に---

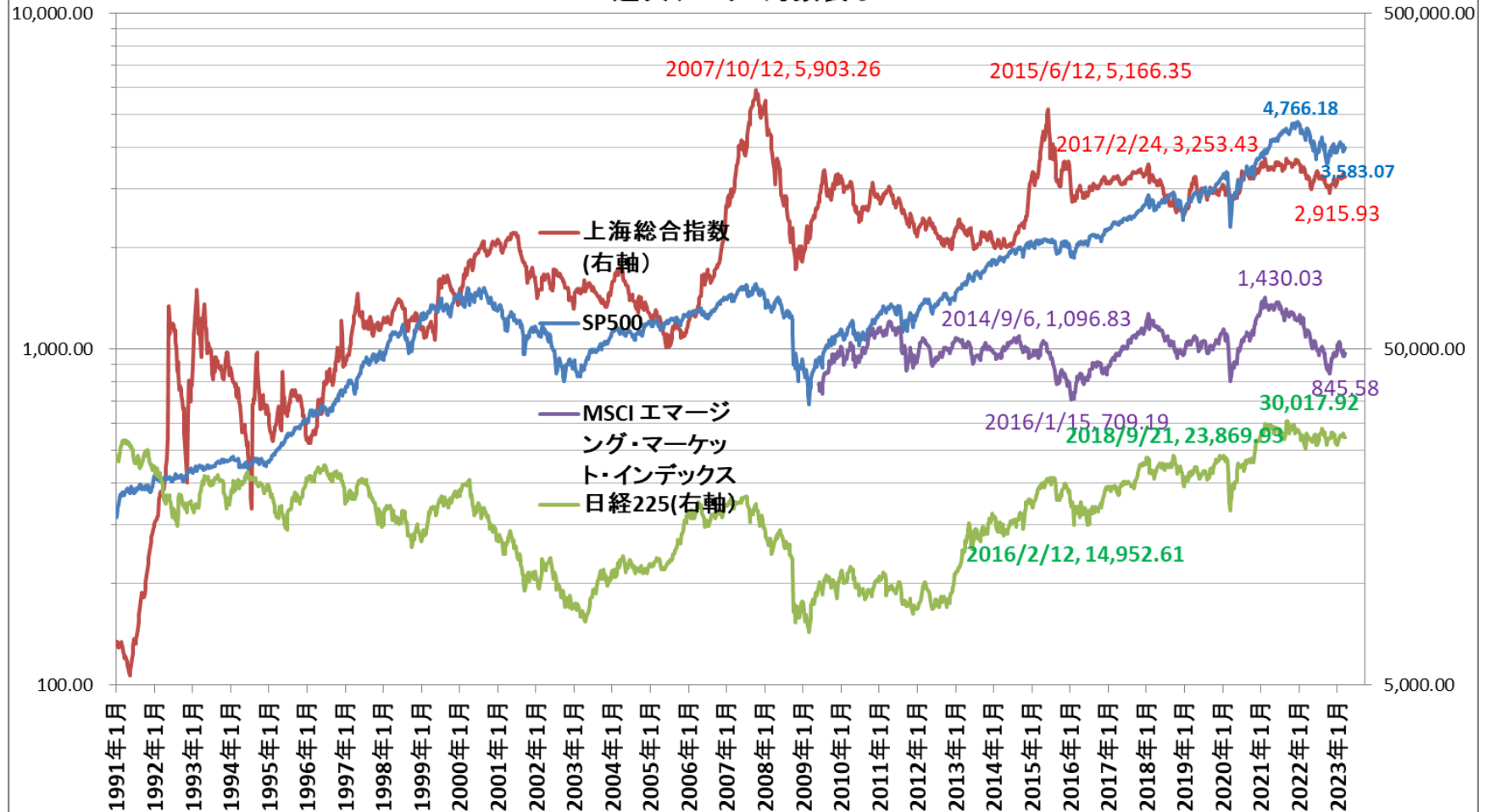


日本・中国・新興国株式と米国株式の動き

---インフレ懸念、ウクライナ情勢、米引き締め等から調整も目先一巡---

株価動向

--- 週次データ 対数表示 ---



(資料:S&P、上海証券取引所、日経、MSCI)

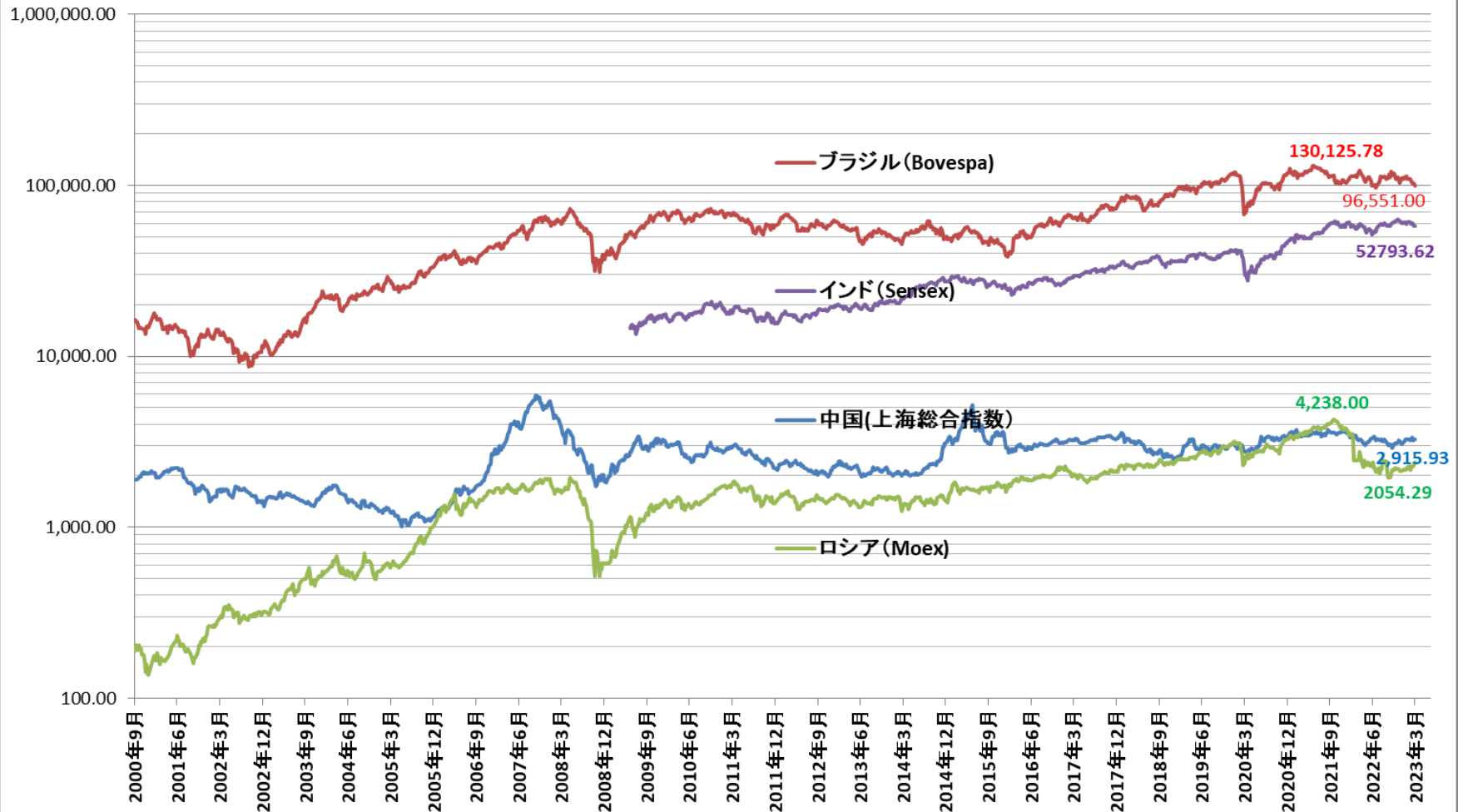
(資料:日経, S&P, 上海証券取引所, MSCI)

新興国BRICs株式の動き

---投資先として人気のインドは調整幅相対的に軽微---

BRICs 株価動向

(週次、対数表示)

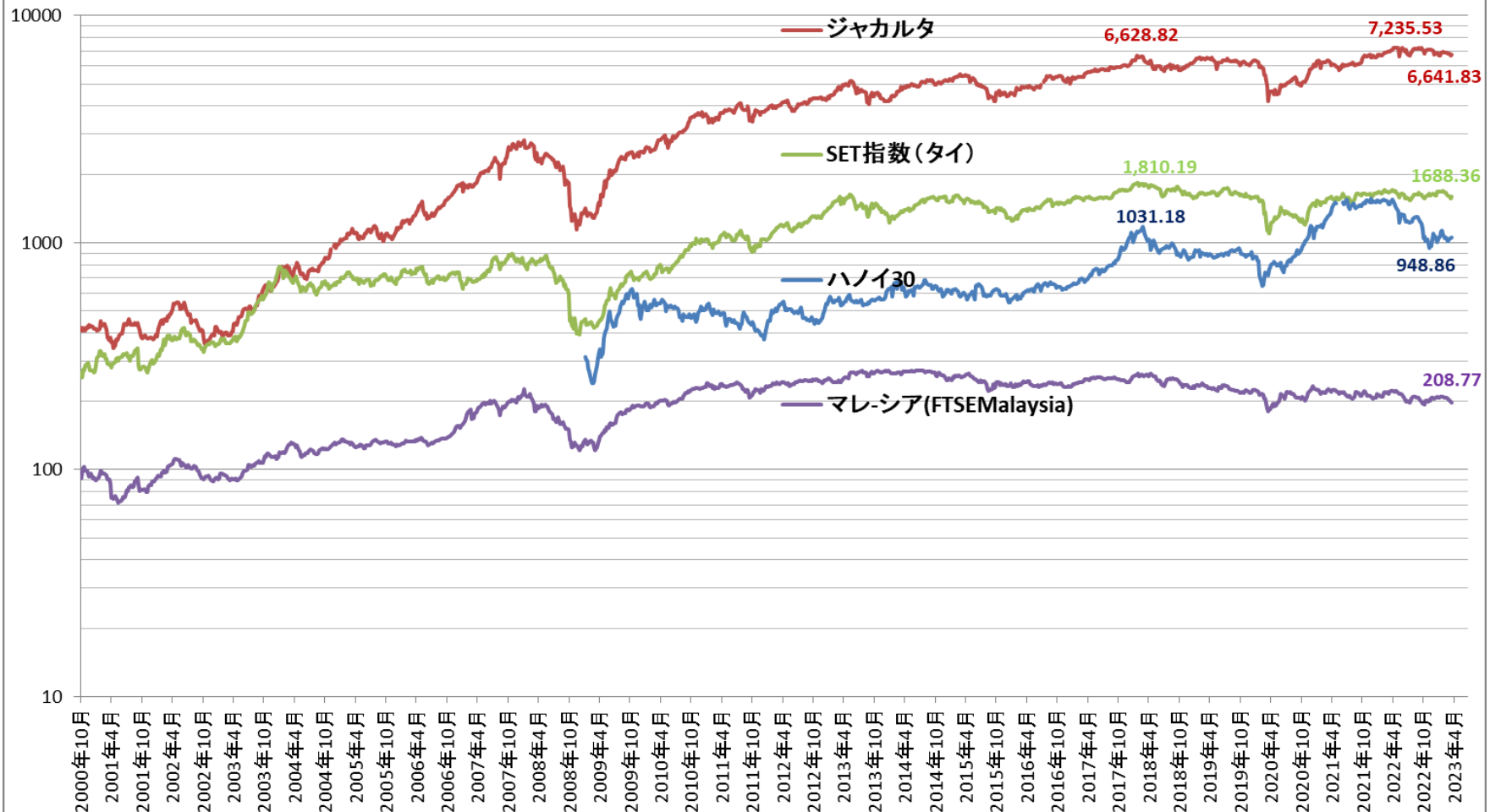


(資料: Bloomberg, Investing)

東南アジア新興国株式の動き

---ベトナムは大きく調整だが、アジア諸国全般は相対的に堅調---

アジア新興国株価
(週次、対数表示)



(資料: Bloomberg, Investing)

米国は割高感が緩和も業績頭打ち

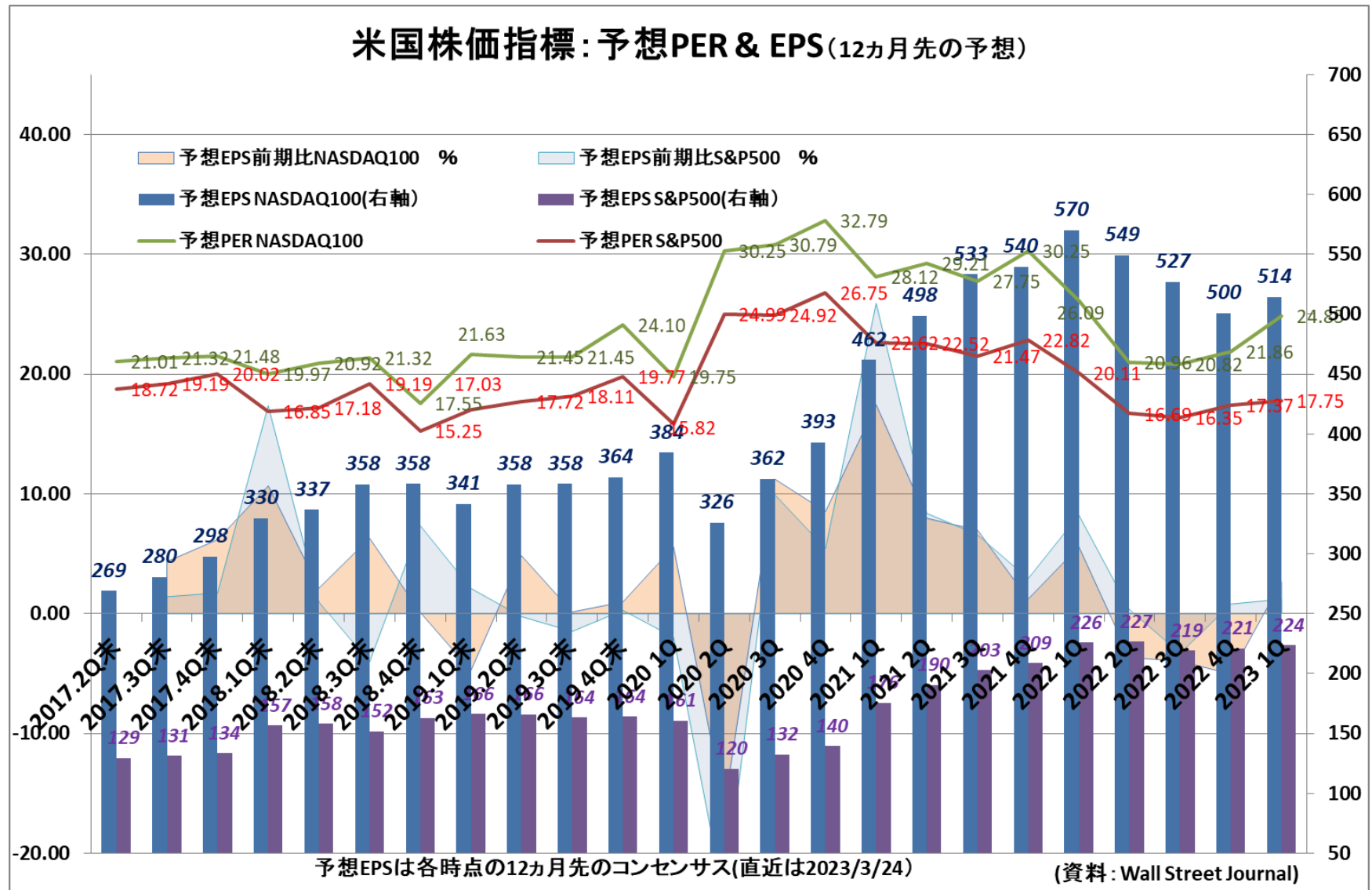
---長期業績期待はあるが、利益モメンタムは弱い---

日米株価指標					
インデックス	株価収益率		インデックス	配当利回り	
	現在	予想ベース		現在	1年前
Dow工業株30種平均	22.4	17.08	Dow工業株30種平均	2.05%	2.02%
Dow運輸株	11.38	14.87	Dow運輸株	1.51%	1.08%
Dow公共株	25.69	21.66	Dow公共株	3.32%	4.09%
Russell 2000	33.23	20.84	Russell 2000	1.68%	1.29%
Nasdaq 100	25.63	24.85	Nasdaq 100	0.87%	0.69%
S&P 500	17.72	17.75	S&P 500	1.73%	1.39%
株価収益率(連結決算ベース)			平均配当利回り(売買単位換算)		
インデックス	前期基準	今期予想	インデックス	前期基準	今期予想
日経平均	13.28	12.80	日経平均	2.24%	2.39%
JPX日経400	13.24	13.17	JPX日経400	2.06%	2.20%
日経300	13.79	13.40	日経300	2.17%	2.31%
日経500平均	14.07	13.85	プライム全銘柄	2.21%	2.42%
プライム全銘柄	14.02	13.81	プライム全銘柄(加重)	2.40%	2.57%
スタンダード全銘柄	16.57	14.09	スタンダード全銘柄	2.15%	2.21%
グロース全銘柄	--	81.80	スタンダード全銘柄(加重)	1.90%	2.02%
注) 2023/3/24 基準			グロース全銘柄	0.30%	0.35%
*米国の予想ベースは12か月後業績コンセンサス			グロース全銘柄(加重)	0.22%	0.25%
12ヵ月EPS予想 2021/12/31 比					
2023/3/24 S&P500 -4.77%					
2023/3/24 NASDAQ100 7.11%					
株価収益率(連結決算ベース)					

(資料: Wall Street Journal, 日経)

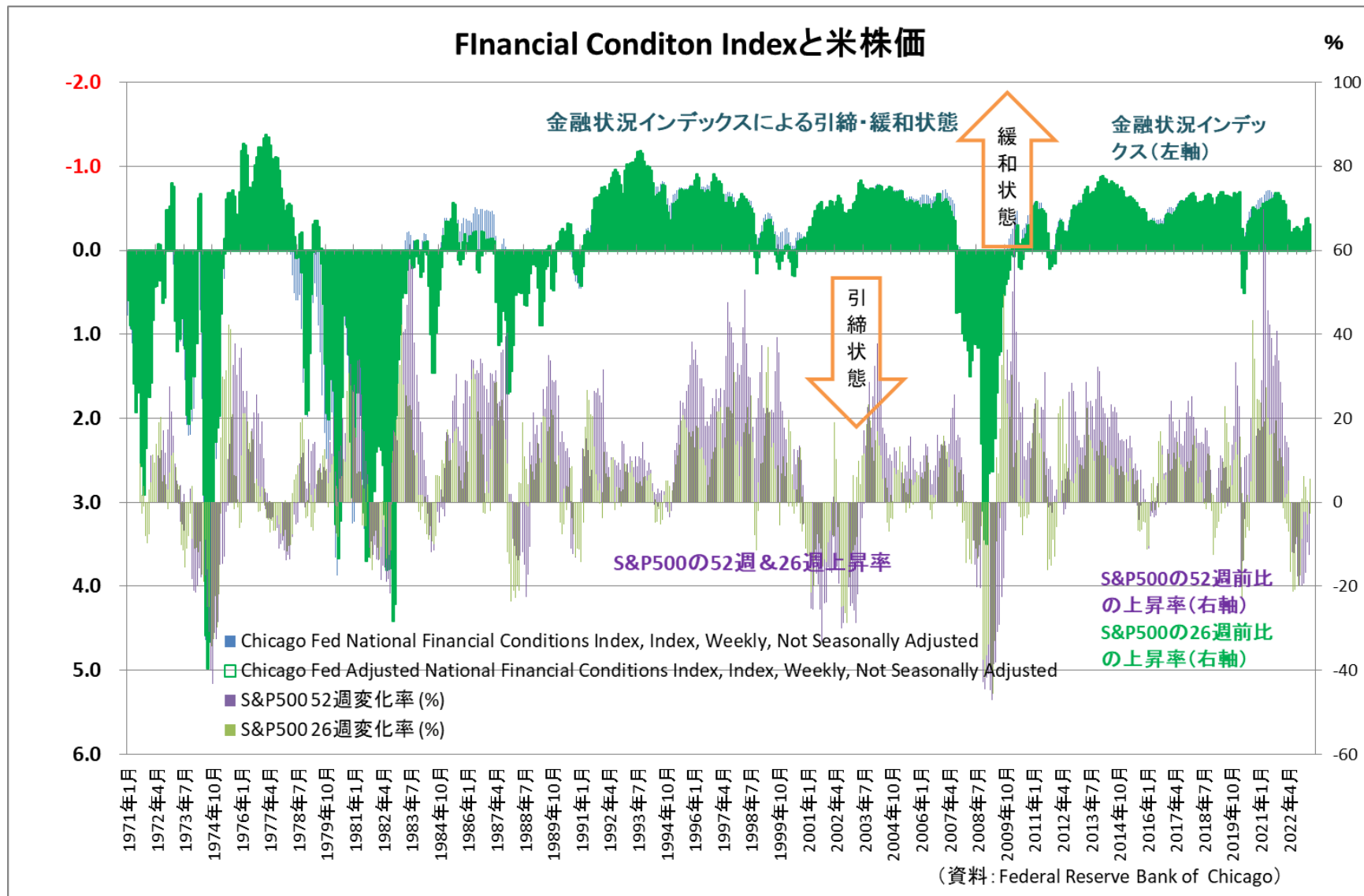
予想1株当たり利益は、期待低下継続

---NASDAQ100の予想利益増加は一巡し、ピークアウト、停滞期入り---



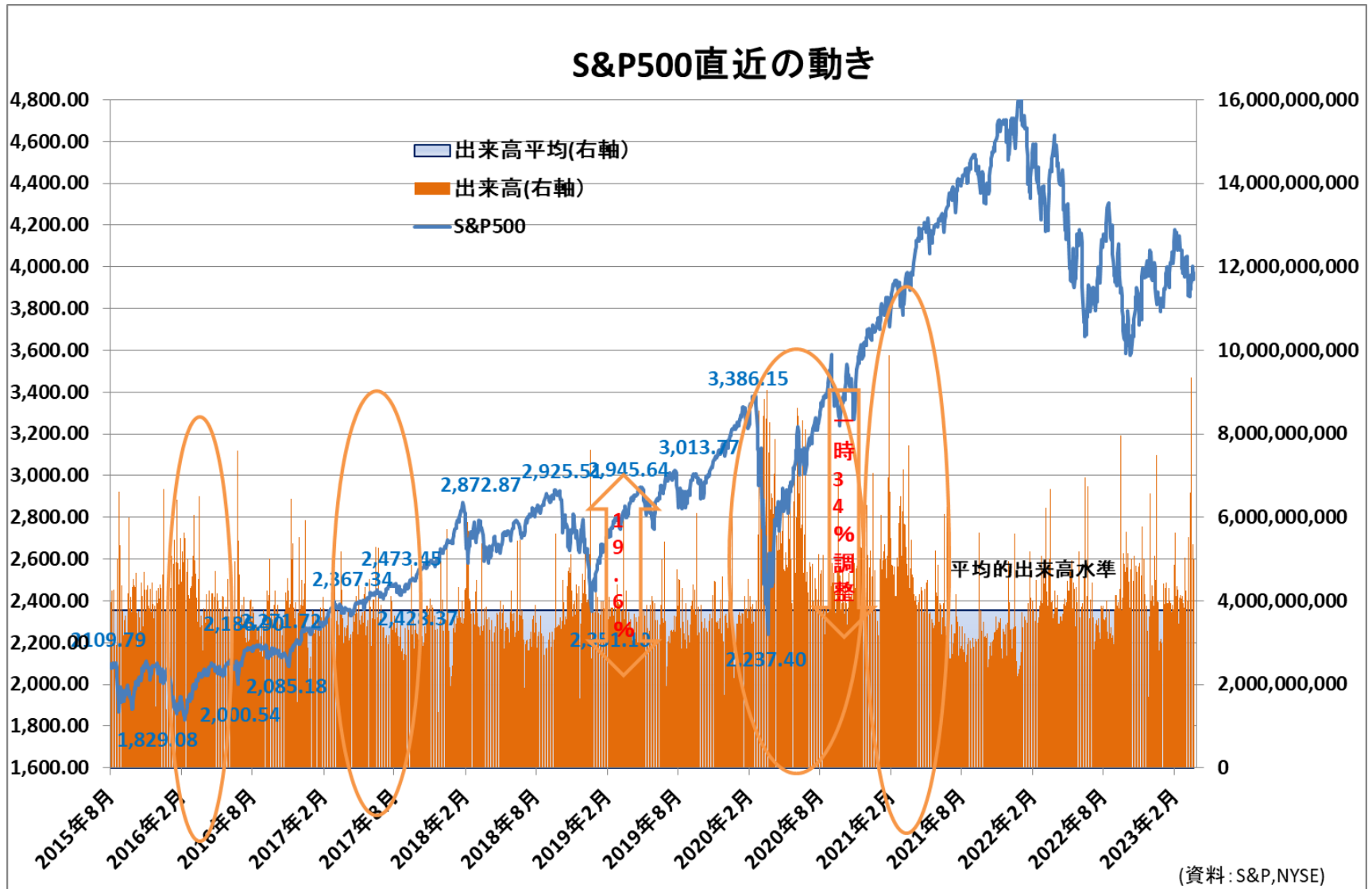
金融緩和と米株価の関係

---タイトになった金融状況も足許は現実には小幅緩和した状態---



米国株は出来高は過去平均水準を再び上回る

---出来高急増は投げが出ている可能性、一方で値頃感の買いも---



DISCLAIMER

本レポートに含まれる情報は、予測に関するものを含め、本レポートの発行時点で、信頼に足ると考えられる資料及び情報源から取得したものです。当社は、それらの情報の正確性について疑うべき事由を認識してはおりませんが、それらの情報に関する検証を行ってはおらず、また、それらの情報について表明、保証等を行うものではありません。本レポートの読者は、本レポートに含まれる情報の関連性、正確性及び完全性並びにそれらの情報が最新のものであるか否かについて、独自に評価する責任があります。

本レポートは、純粹な情報提供の目的でご提供するものであり、従って、有価証券若しくはその他の金融商品の売買若しくは取得の申し込み又はその誘因を目的とするものではありません。

当社は、何人に対しても、本レポートに含まれる情報を使用し、またはそれらの情報に依拠したことにより生じた損失、損害、費用及び経費について、一切責任を負いません。